【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2009-154427(P2009-154427A)
【公開日】平成21年7月16日(2009.7.16)
【年通号数】公開・登録公報2009-028
【出願番号】特願2007-336087(P2007-336087)
【国際特許分類】
Ｂ２９Ｃ　65/40　　(2006.01)
Ｂ６５Ｂ　41/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２９Ｃ　65/40
Ｂ６５Ｂ　41/12　　５０１Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成22年3月17日(2010.3.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくともベースフィルム層とシーラント層とを具える、先行積層フィルムの尾端部と、後行積層フィルムの先端部とを、前記シーラント層側に融着された、着色中間層を有する両面シール性ラミネートフィルムからなるストラップフィルムを介して接合して相互に連結してなる構造であって、
前記着色中間層は、ストラップフィルムの融着側内層と外層との間に積層されてなり、延伸フィルムまたは無延伸フィルムの片面に、少なくとも黒または赤と、黄色とを含む複数色の縞状印刷層を形成したものからなることを特徴とする積層フィルムの連結構造。
【請求項２】
前記先行積層フィルムの尾端部と、後行積層フィルムの先端部との繋ぎ線が、積層フィルムのフィルム送り方向に対し、斜めまたは直交して横切るように設けられていることを特徴とする請求項１に記載の積層フィルムの連結構造。
【請求項３】
前記ストラップフィルムは、幅が３０ｍｍ以下、厚みが１００μｍ以下であることを特徴とする請求項１または２に記載の積層フィルムの連結構造。
【請求項４】
少なくともベースフィルム層とシーラント層とを具える、先行積層フィルムの尾端部と後行積層フィルムの先端部とを、互いに突き合わせ、その突き合わせ部の前記シーラント層側の面に、着色中間層を有する両面シール性ラミネートフィルムからなるストラップフィルムを加熱融着させることにより、先行・後行積層フィルムの端部どうしを幅方向の全幅にわたって接合する方法において、
前記着色中間層は、ストラップフィルムの融着側内層と外層との間に積層されてなり、延伸フィルムまたは無延伸フィルムの片面に、少なくとも黒または赤と、黄色とを含む複数色の縞状印刷層を形成したものからなることを特徴とする積層フィルムの連結方法。
【請求項５】
前記先行積層フィルムの尾端部と、後行積層フィルムの先端部との繋ぎ線が、積層フィルムのフィルム送り方向に対し、斜めまたは直交して横切るように設けられていることを

特徴とする請求項４に記載の積層フィルムの連結方法。
【請求項６】
前記ストラップフィルムは、幅が３０ｍｍ以下、厚みが１００μｍ以下であることを特徴とする請求項４または５に記載の積層フィルムの連結方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
上記目的を達成するため、本発明は、少なくともベースフィルム層とシーラント層とを具える、先行積層フィルムの尾端部と、後行積層フィルムの先端部とをが、前記シーラント層側に融着された、着色中間層を有する両面シール性ラミネートフィルムからなるストラップフィルムを介して接合して相互に連結してなる構造であって、前記着色中間層は、ストラップフィルムの融着側内層と外層との間に積層されてなり、延伸フィルムまたは無延伸フィルムの片面に、少なくとも黒または赤と、黄色とを含む複数色の縞状印刷層を形成したものからなることを特徴とする積層フィルムの連結構造を提案する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、本発明は、少なくともベースフィルム層とシーラント層とを具える、先行積層フィルムの尾端部と後行積層フィルムの先端部とを、互いに突き合わせ、その突き合わせ部の前記シーラント層側の面に、着色中間層を有する両面シール性ラミネートフィルムからなるストラップフィルムを加熱融着させることにより、先行・後行積層フィルムの端部どうしを幅方向の全幅にわたって接合する方法において、前記着色中間層は、ストラップフィルムの融着側内層と外層との間に積層されてなり、延伸フィルムまたは無延伸フィルムの片面に、少なくとも黒または赤と、黄色とを含む複数色の縞状印刷層を形成したものからなることを特徴とする積層フィルムの連結方法を提案する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
なお、発明においては、前記先行積層フィルムの尾端部と、後行積層フィルムの先端部との繋ぎ線が、積層フィルムのフィルム送り方向に対し、斜めまたは直交して横切るように設けられていること、および前記ストラップフィルムは、幅が３０ｍｍ以下、厚みが１００μｍ以下であること、が好ましい解決手段となる。